

カタログにある「ネオマキーパー」は、「ネオマキーパーⅡ」に変更になりました。
 使用箇所は同じですので、施工方法に留意し、
 必ず「ネオマキーパーⅡ」を使用することをお願いします。

ネオマフォームUF ネオマフォームDH 仮固定専用プラスチック釘セット

ネオマキーパーⅡ

ネオマフォームUFの仮固定には必ずネオマキーパーⅡをご使用ください。

ネオマキーパーⅡは、ネオマフォームUF・ネオマフォームDHのコンクリート型枠への仮固定専用として旭化成建材が開発した『カラーと釘（プラスチック釘セット）』です。



図1 カラーと釘



図2 カラーと釘をセットした状態

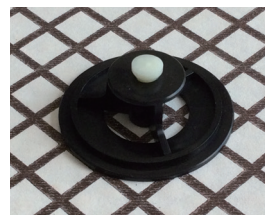


図3 設置状態

ネオマキーパーⅡの特徴は以下の通りです。

- ① カラーと釘を組み合わせて使用します。
- ② カラーの円錐形部分がコンクリートの中に埋まって一体化する事により、コンクリートに緊結します。
- ③ カラーの3本の矢印状の突起が、ネオマフォームUFおよびDHに貫入することにより、アンカー力を生み出します。
- ④ 釘の先端部に段差を設けることにより、釘を過剰に打込むことを抑制します。

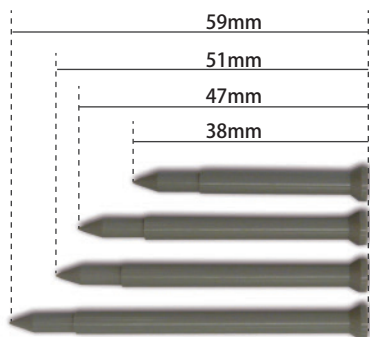


図4 針の種類

ネオマキーパーⅡの適用品種一覧

品 種	釘の長さ	ネオマフォームの適用厚さ	
		ネオマフォームUF	ネオマフォームDH
ネオマキーパーⅡ-A	38mm	13mm	12mm
ネオマキーパーⅡ-B	47mm	22mm	21mm
ネオマキーパーⅡ-C	51mm	26mm	25mm
ネオマキーパーⅡ-D	59mm	34mm	-

⚠ ネオマキーパーⅡは、ネオマフォームUF・DHの厚さにあったものをご使用ください。(図5)

短いものを使用すると、釘部が型枠合板に届かず固定できません。(図6)

また、長いものを使用すると釘とカラーが一体化せず、ネオマフォームと型枠合板との間(図7)やカラーとの間(図8)に隙間が生じ、適切に仮固定できないおそれがあります。

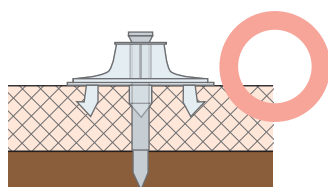


図5

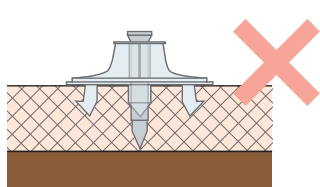


図6

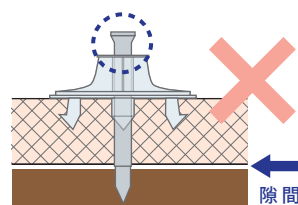


図7

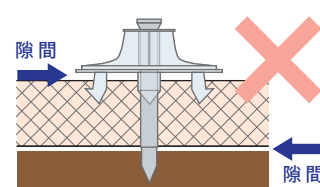


図8

施工上の注意点

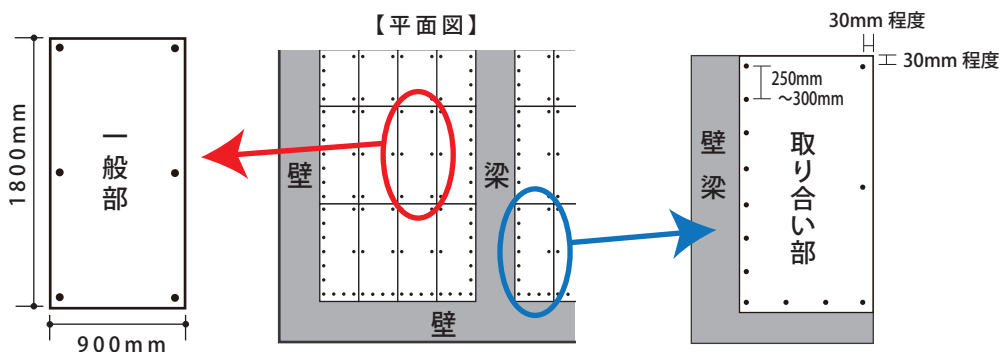
⚠️注意：① 取扱い — 鋭利な先端部分に注意 —

ネオマキーパーⅡは釘の先端部分とカラーの矢印状の突起が鋭利ですので、けが等しないよう取扱いにご注意ください。

⚠️注意：② 配置 — 固定ピッチに注意 —

スラブ下に施工する場合（ネオマフォーム UF）

四周がネオマフォームと接する一般部は、1枚あたり6本を目安とし使用します。
また壁や梁との取り合い部はノロが入りやすいため、ピッチを狭くしてください。(250mm~300mmピッチ)
ネオマフォーム端部からは30mm程度離してください。



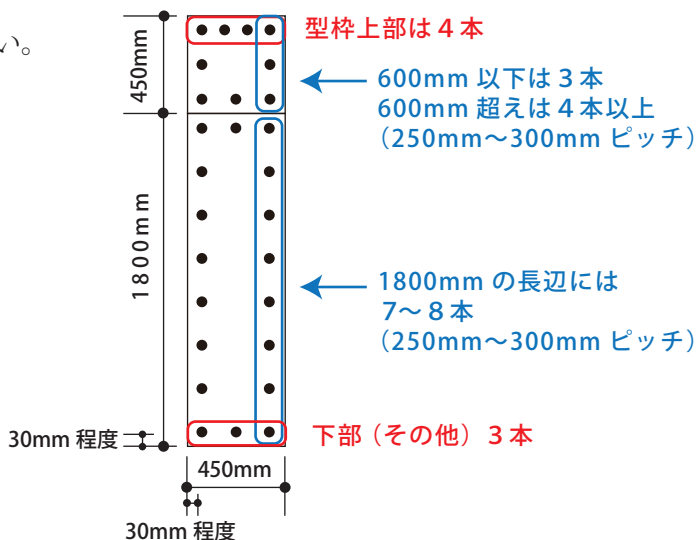
壁に施工する場合（ネオマフォーム DH/ ネオマフォーム UF）

16~20本/枚（450×1800）を目安として使用します。固定ピッチは表1の通りです。

※ 型枠上はノロが入りやすいため、
その他の箇所よりピッチを狭くしてください。

【表1】

	固定ピッチ
長手方向	250mm~300mm
幅方向	(型枠上部) 150mm~200mm
	(その他) 200mm~250mm



⚠️注意：③ 脱型後 — 突出している先端部分は取り除く —

脱型後、ネオマフォーム表面から突出している先端部分はニッパー等で切り取ってください。

⚠️注意：④ ネオマキーパーⅡの打ち直し — 別の場所に新しい製品で —

打ち損じ等で、ネオマキーパーⅡを一度取り除いて再施工する際は、先に施工した場所から50mm程度離れた場所に、新しいネオマキーパーⅡを使用して再施工してください。
一度使用したネオマキーパーを再利用しないでください。

●このチラシは、「ネオマキーパーⅡチラシ」(2016年10月修正版)です。●記載内容の仕様、物性品質等については、予告なく変更させていただくことがあります。●ご使用にあたっては、関連法規、「ネオマフォーム DH・ネオマフォーム UF パンフレット」および当社が提供する技術資料に従って適切に使用してください。●このチラシは、印刷のため実際の色柄とは多少異なる場合がございます。●このチラシの内容についてのお問い合わせは、当社にお問い合わせください。

旭化成建材株式会社 <http://www.asahikasei-kenzai.com/>

本社	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105 (神保町三井ビルディング)	TEL.03-3296-3531	FAX.03-3296-3535
札幌	〒060-0002 札幌市中央区北二条西1-1 (マルイト札幌ビル)	TEL.011-261-5550	FAX.011-221-2371
仙台	〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-1-1 (仙台ファーストタワー)	TEL.022-223-8171	FAX.022-211-9526
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 (名古屋インターシティ)	TEL.052-212-2251	FAX.052-212-2257
大阪	〒530-8205 大阪市北区中之島3-3-23 (中之島ダイビル)	TEL.06-7636-3838	FAX.06-7636-3828
福岡	〒810-0012 福岡市中央区白金1-20-3 (紙与薬院ビル)	TEL.092-526-2107	FAX.092-526-2492

(2016年10月修正版)